

## 京都市の人口問題と西京区のまちづくり

### I 人口問題を考える

#### 1 京都市の人口問題

##### (1) 大きく減少した京都市の人口

京都市の人口が2年連続で減少数日本一に \* 総務省人口動態調査  
2019年 1,470,957人  
2020年 1,463,723人 △7,234人  
2021年 1,453,956人 △9,767人  
2022年 1,448,964人 △4,992人

##### (2) 安定していた京都市の人口

1982年 1,475,777人 \* 最多は1986年の1,479,370人  
1992年 1,456,527人  
2002年 1,469,061人  
2012年 1,475,192人 \* 2005年に京北町編入(2004年6,749人)  
2022年 1,448,964人 \* 2017年から減少(2016年1,475,909人)

##### (3) 高い昼夜間人口比

2015年 109.1 (昼間人口 1,610,077人、夜間人口 1,475,183人)  
2020年 109.0 (昼間人口 1,594,930人、夜間人口 1,463,723人)

#### 2 全国の大都市の人口の推移

2010年から2020年の10年間の人口の変化 \* 日本の人口のピークは2008年の128,084千人  
人口が減少した都市(政令指定都市20市中)  
新潟市、静岡市、浜松市、京都市、堺市、神戸市、北九州市

#### 3 京都市の人口の推移

##### 京都市の人口減少の要因

2017年以降、自然減が大きくなる(自然減のマイナスは2005年から始まる)

合計特殊出生率 京都市 1.15 \* 全国は1.34、政令指定都市では札幌市(1.09)に次ぐ低さ

2017年以降、社会減に転ずる(それまでは社会増)

\* 外国人の転入で統計上は社会減が目立たなかった

## 4 西京区の人口

### (1) 行政区別人口の推移

	1982年	1992年	2002年	2012年	2022年
西京区	122,024人	146,109人	155,324人	152,278人	146,736人

\* 西京区の人口のピークは2000年(155,928人)

中京区	102,606人	92,699人	97,917人	106,979人	109,904人
-----	----------	---------	---------	----------	----------

\* 近年は、都心区で人口が増加、周辺区で人口が減少

### (2) 目立つ社会減

京都市の社会減の大きな要因は西京区

(社会減の数) \*日本人のみ

	2022年	2021年	2020年	2016年
京都市	△2,867人	△1,619人	172人	1,000人
西京区	△1,128人	△1,055人	△440人	△562人

(市内1位) (市内1位) (市内1位) (市内1位)

主な転出先

大阪市、東京都区部、三島地域、乙訓地域、南丹地域、南山城地域

主な転入先

左京区

### (3) 低い昼夜間人口比

2015年 78.5(昼間人口 118,438人、夜間人口 150,962人)

2020年 80.5(昼間人口 120,584人、夜間人口 149,837人) \*宇治市 87.8

### (4) 進む高齢化

	2010年	2020年
京都市	23.0%	28.2%
西京区	20.2%	28.2%
洛西支所	21.9%	35.5%
洛西ニュータウン	25.1%	43.1%

\*京丹後市 38.2%、綾部市 39.0%(2020年)

## II 地域の活性化

### 1 地方（まち・ひと・しごと）創生総合戦略：2014年12月

#### (1) 地方（地域）の活性化

##### ① しごとの創生

若い世代が安心して働くしごと（雇用）の創出

##### ② ひとの創生

安心して子育てができる環境整備による人の定着

##### ③ まちの創生

安心して暮らせる地域づくり。

## 2 安心して住み続けられるための条件

### (1) 生活インフラ

- ① 住宅
- ② 医療
- ③ 福祉

高齢者、子育て、障害者

- ④ 教育
- ⑤ 生活

買い物、日常生活

### (2) 都市インフラ

- ⑥ 公共交通
- ⑦ 自然環境

田園、森林、河川、公園

### (3) 就労

- ⑧ 働く場所

## III 西京区の活性化（魅力の向上）に向けて

### 1 西京区基本計画（2021年8月）

#### まちづくりの方向性とまちづくりの取組

##### (1) 人と人との支え合う区民が主役のまちづくり：9項目

- ・地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築
- ・子育て・教育環境の充実

##### (2) 環境と共生するまちづくり：5項目

- ・田園環境の保全と農業の振興

##### (3) 人と歴史・文化が輝くまちづくり：6項目

- ・地域の魅力を活かした観光の振興
- ・学術・医療機関等との連携

##### (4) 暮らしやすい都市基盤が整うまちづくり：9項目

- ・暮らしを支える公共交通の更なる充実
- ・京都の持続可能な発展につながる芸大跡地の活用と洛西ニュータウンの再生・活性化
- ・地域経済活動の活性化と職住近接のまちづくり
- ・美しい景観とまちの活力につながる住環境の創出

### 2 西京区の活性化（魅力の向上）を考える

#### (1) 都市のぎわい（活性化）

大都市（京都市）の中の行政区

昼夜間人口比率が低い：ベッドタウン的側面

→ 昼間人口を高める  
産業の振興、創出

農業、観光、新産業・新事業の創出  
食（飲食店も含め）、研究開発、コワーキングスペース、市民農園  
沓掛、大原野インターチェンジに近い

京都市立芸術大学跡地の活用方法

賑わい、雇用、利便性の向上  
京都市全体で見ても貴重な土地 7.1ha  
\*桂イノベーションパーク 3ha  
京大桂ベンチャープラザ北館・南館（経済産業省）  
研究成果活用プラザ（文部科学省） → 京都大学イノベーションセンター  
三洋化成、ファーマフーズ、マイコム  
賑わい機能  
京都市立芸術大学のサテライト機能  
京大、日文研との連携 → 文化拠点（文化の創造）

京都大学大学院工学研究科の活用

桂地区： 大学院生 1,911 人、教員 422 人

## (2) 住宅問題

空家率は低い：京都市 12.9%、西京区 9.8% (11 位)  
一戸建て住宅が多い：京都市 45.4%、西京区 54.3% (2 位)  
持ち家が多い：京都市 53.3%、西京区 57.6% (3 位)

住居の供給（空家の活用、住宅建設）

子育て世代をターゲット  
必要に応じて都市計画等の柔軟な見直し

## (3) 居住環境

自然環境に恵まれている

子育て世代にとっての居住環境  
高齢者にとっての居住環境